

■ ステークホルダーの皆様へ



北尾吉孝

代表取締役執行役員CEO

プロフィール

- 1951年：兵庫県生まれ
- 1974年：慶應義塾大学経済学部卒業後、野村証券(株)に入社
- 1978年：英国ケンブリッジ大学経済学部を卒業
- 1989年：ワッサースタイン・ペレラ・インターナショナル社(ロンドン)常務取締役
- 1991年：野村企業情報(株)取締役(兼務)
- 1992年：野村証券(株)事業法人三部長
- 1995年：孫正義氏の招聘によりソフトバンク(株)入社(常務取締役管理本部長)
- 2005年：SBIホールディングス(株)代表取締役執行役員CEOとして現在に至る

SBIグループは、わずか10年で世界的にもユニークな「インターネット金融コングロマリット」体制を確立しました。今後のさらなる成長と海外へ向けての飛躍を目指し、2010年にSBIグループの新たな経営戦略として金融サービス事業の「ペンタゴン経営」を掲げました。「証券」「銀行」「損害保険」「生命保険」「決済サービス」を金融サービス事業における5つのコア事業と位置付け、グループ内シナジー効果を徹底的に追求してまいります。そして、「日本のSBIから世界のSBIへ」と、さらに力強い成長を目指してまいります。

2010年3月期の総括

2010年3月期は、国内では失業率が過去最高水準となるなど厳しい環境が続き、海外ではアジア地域を中心に景気の回復基調が見られつつも世界的に依然景気の下振れ懸念を抱えるなど、全般に厳しい状況で推移いたしました。株式市場は、成長期待の高い新興国市場が比較的堅調に推移し、世界におけるIPO社数は回復を見せましたが、国内では個人株式委託売買代金が前期比6.9%減、IPO社数は前期比15社減の19社となるなど、前期よりさらに低迷いたしました。

このような環境下において、当社の連結業績は、売上高が1,245億41百万円(前期比4.9%減)、営業利益は34億31百万円(前期比22.1%減)、経常利益は11億12百万円(前期比2,875.4%増)、当期純利益は23億50百万円(前期は当期純損失183億75百万円)となり、引当金繰入等を合計で82億99百万円計上しながらも、2期ぶりの最終黒字を達成いたしました。また、リーマン・ショック以降強化してきた経費削減および、組織再編成を中心とした合理化が一巡し、各事業部門で回復の兆しが見られております。

配当金につきましては、当社は連結当期純利益の20%~50%を配当性向の目処とし、原則として期末配当に一本化することを基本方針としております。この方針に則って、2010年3月期は普通配当50円とし、また創業10周年を記念した記念配当50円を加え、1株当たり100円の年間配当を実施いたしました。

さらなる飛躍を目指して

SBIグループは創業以来、インターネットを最大限に活用して、圧倒的に安い手数料や高金利の預金など質の高い商品、利便性の高いサービスの提供に挑戦し続けてまいりました。それらが評価され、2010年3月期末の顧客基盤は1,000万人を超える規模にまで拡大しており、また、SBIグループ自身も連結子会社数は100社超、連結従業員数も3,000人を超えるまで急成長しております。また、様々な金融サービスを提供するグループ各社間でシナジーを発揮させることで、金融のワンストップサービスを提供できる「金融生態系」を構築いたしました。現在では、SBI証券がネット証券として国内で圧倒的な存在となっているだけでなく、ネット銀行やネット損保においても、SBIグループ各社が各種満足度調査で極めて高い評価を得ております。

SBIグループは、「Strategic Business Innovator」として、自己進化し続ける企業として常に挑戦を続けてまいりましたが、次な

る成長のステージを展望し、2010年に新たな経営戦略として金融サービス事業における「ペンタゴン経営」を掲げました。

「ペンタゴン経営」では、SBIグループの金融生態系のうち、「証券」「銀行」「損害保険」「生命保険」「決済サービス」を5つのコア事業と位置付け、コア事業間のシナジー効果を一層発揮させてグループ全体の飛躍的な成長を促してまいります。そして日本で蓄積してきたコア事業のシステムやノウハウなどを、海外新興国の経済発展の段階にあわせて順次移出することで、新興諸国における金融サービス事業の展開を進めてまいります。

また、SBIグループはこれまでインターネットを中心に発展してまいりましたが、5つのコア事業の成長を加速させ、またあらゆるお客様に満足していただく真の顧客中心主義を達成するために、主にフランチャイズ形式による「SBIマネープラザ」の店舗展開を中心に、「ネット」と「リアル」の融合を進めてまいります。今後はインターネットだけでなく、対面で相談したいというお客様に対しても、低コストで一人ひとりに最適な金融商品を提供できる「日本最大の金融ディストリビューター」を目指してまいります。

さらに、今後の新たな成長に向けて、海外での事業展開も積極的に推進してまいります。すでにこれまで、中国をはじめとした潜在成長率の高いアジア新興諸国を中心に投資体制を整備し、現地有力パートナーとの提携により順調に海外への投資を増やしてまいりました。また、海外でのSBIグループの認知度向上を図り、金融サービス事業の海外移出を加速させることで、「日本のSBIから世界のSBIへ」と変貌を遂げ、グローバル企業として飛躍的な成長を目指してまいります。

SBIグループは、世界的にも極めてユニークな「インターネット金融コングロマリット」として、ネットという非常に強力な武器を手にしなが、一層力強い成長を遂げるべく、今後も新たな事業機会に積極的に挑戦してまいります。また、お客様のために、投資家の皆様のために、顧客中心主義を貫き、より革新的なサービス、ビジネスの創出に努め、顧客価値、株主価値、人材価値の総和たる企業価値の極大化を追求してまいります。

北尾 吉孝

代表取締役執行役員CEO